

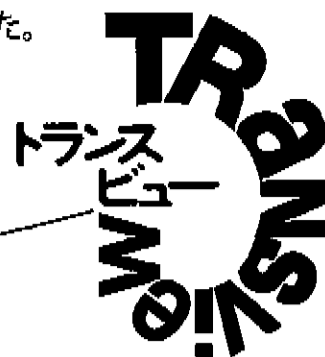
千葉大学生協ブックセンター 御中 15093

人文書 を担当さま このご案内は、新刊のご注文をいただいている書店様へ差し上げました。
『全訳論語』と同様、棚に必備のロングセラー間違いなしです。
たびたびのご案内で恐れ入りますが、ぜひご検討ください。

低正味・スピード納品
容注1冊から対応

トランスビュー・新刊のご案内

送料など無料



11月9日発送開始 / ★広告掲載★ 11月12日「朝日」一面サンヤツ、11月14日「毎日」読書面



哲学として読む 老子〈全訳〉

山田史生 (弘前大学教授)

本体2500円 四六判並製 448ページ ISBN978-4-7987-0179-0

『論語』に並ぶ、中国古典の最高峰。

老子の哲学の面白さを生き生きと伝える

わかりやすい全訳 + 解説

この世界が生まれるまえから
存在している「もの」。
わたしはその名を知らない。
かりそめに「道」とでもよんでおこう。

「道」とは、けっきょく何なのか

神秘的な宇宙の根源？
おおいなるものが導く人生訓？
……それらは全部まちがっていた。

“2500年の誤解”をくつがえす 画期的解釈！

物語として読む

全訳 論語 決定版 山田史生

四六判・並製・592頁 ISBN978-4-7987-0167-7 本体2200円

『論語』を、孔子と弟子のやりとりを描いた物語として読む。
すると、大古典の新しい姿が見えてくる。
訳文を刷新、じんわり深いエッセイ風解説を付した決定版。

これなら、最後まで
読み通せる！

文体は小中学生でもサクサク読めるほど平明で、随所に著者の人生経験や主観が飛び出す。本書のように古典を心から楽しむエッセイ風の解説書は人生を豊かにしてくれる。
加藤徹氏（明治大教授）読売新聞書評より

好評既刊！



やまだ・ふみお
1959年、福井県生まれ。東北大学文学部卒業。同大学大学院修了。博士(文学)。現在、弘前大学教育学部教授。著書に『渾沌への視座 哲学としての華嚴仏教』（春秋社）『日曜日に読む「荘子」』（ちくま新書）『孔子はこう考えた』（ちくまプリマー新書）『脱世間のすすめ 漢文に学ぶもう少し楽に生きるヒント』（祥伝社）『もしも老子に出会ったら』（光文社新書）『禅問答100撰』（東京堂出版）『龐居士の語録』（東方書店）など。

ご注文

◆新刊
哲学として読む 老子 〈全訳〉 冊

◆既刊
物語として読む 全訳論語 冊

書店名

千葉大学生協同組合ブックセンター
〒263-0022 千葉市稲毛区弥生町1-33
TEL 043(254)4182
FAX 043(284)0793

ご担当 千葉大学生協同組合ブックセンター
〒263-0022 千葉市稲毛区弥生町1-33
TEL 043(254)1825 内線4182
FAX 043(284)0793

◎折返連絡の、要・不要



直接取引にてお届けします。
配本はございません。
1冊からお気軽にお申し付け下さい。
(返品随時可/送料元払/取次ルートは完全買切)

【ご注文・お問合せ】トランスビュー 工藤秀之
order@transview.co.jp TEL:03-3664-7334
フリーダイヤル FAX:0120-999-968

